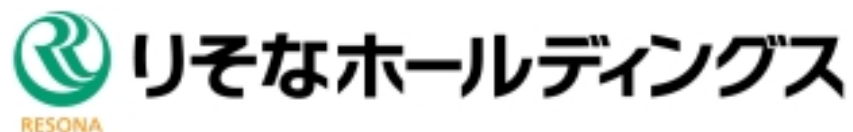

平成15年度決算 発表時 説明資料

平成16年5月24日



I. 平成16年3月期決算のハイライト

■ 下期当期利益(注)は、健全化計画525億円(5行合算ベース)を7割強上回る917億円を達成(Page1,3)

⇒ りそな再生の第一歩を踏み出す

注:「下期当期利益」は年間の当期純損益と15年9月中間純損益との差額

- 業務粗利益、実勢業務純益は下期計画を上回った一方、与信費用は計画を大幅に下回った(下期計画630億円に対し、実績198億円)。(Page1,4,5)
- 15年3月期比では、実勢業務純益は470億円の減少。要因は債券関係損益が503億円、資金利益が374億円の減益。一方、経費の圧縮は390億円。(Page4)

■ 開示不良債権は、計画の19,500億円を下回る18,841億円(Page1,5)

⇒ 中間期末残高32,190億円から4割強の減少

⇒ 不良債権比率も中間期末11.2%から6.7%へ大幅に低下

■ 政策投資株式(上場・店頭)は、年間で5割超を圧縮(Page2)

⇒ 平成18年9月の株式保有規制は達成を見込む

■ 大手金融グループ初の固定資産の減損会計の早期適用など(Page3,7)

⇒ リスク資産問題の克服には目処

■ 貸出金末残は、上期2.3兆円、下期0.7兆円の減少(Page2,平残Page4)

- 不良債権のオフバランス化、要注意先向け貸出金の圧縮が主因(Page4,6)
- 住宅ローンは好調ながら、法人向け貸出の増強には課題(決算説明資料P21)

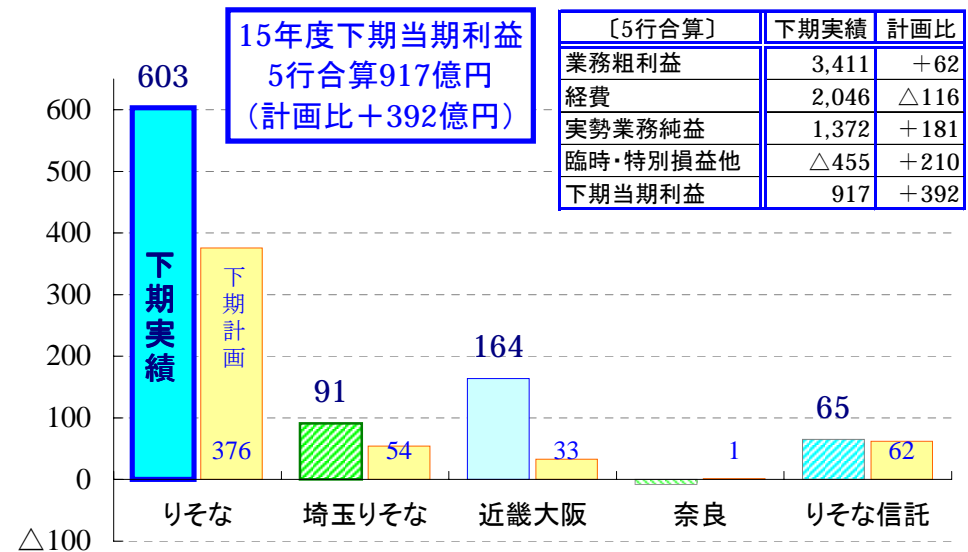
■ 預金は12月末を底に増加基調 ⇒ 信頼回復の基調が定着(Page2)

- 下期については投資信託等も約2,300億円の増加(決算説明資料P22)

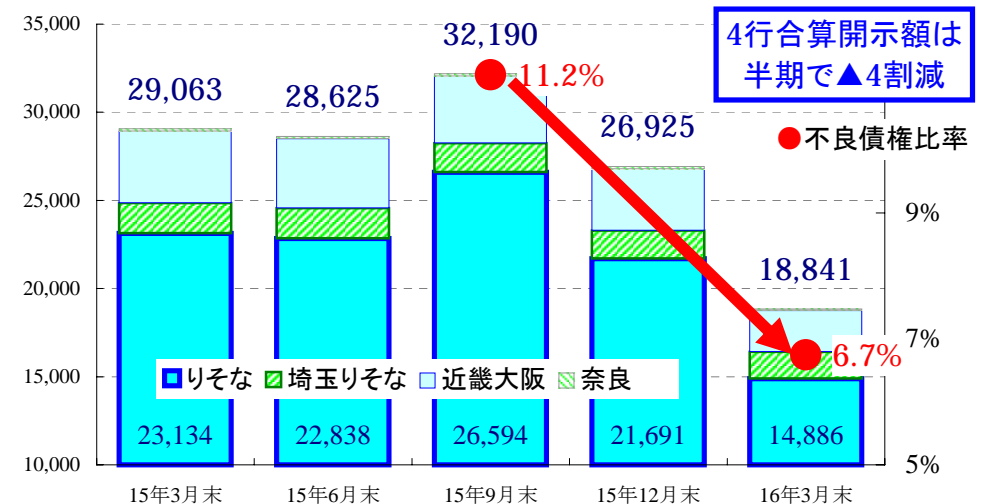
■ 利益回復が着実となりつつあることから、当初見送りを見込んでいた優先株式に対する配当を平成17年3月期より再開予定(Page9,決算短信)

- 但し、普通株式への配当は引続き無配を予想

〔15年度下期当期利益(単体・年間・中間との差額)〕～“黒字経営”への体質転換

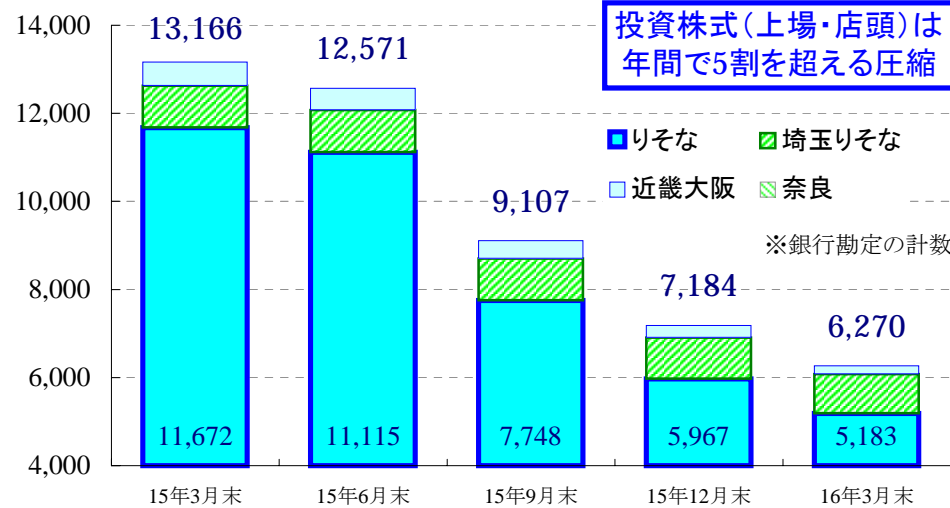


〔開示不良債権(金融再生法基準)〕～着実に向上する資産の“質”

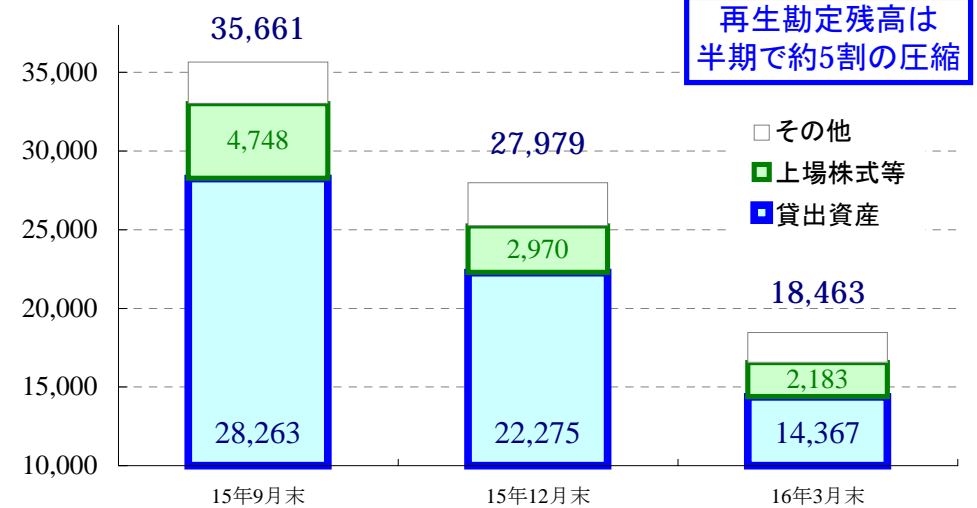


注:金額については単位未満を切捨て表示

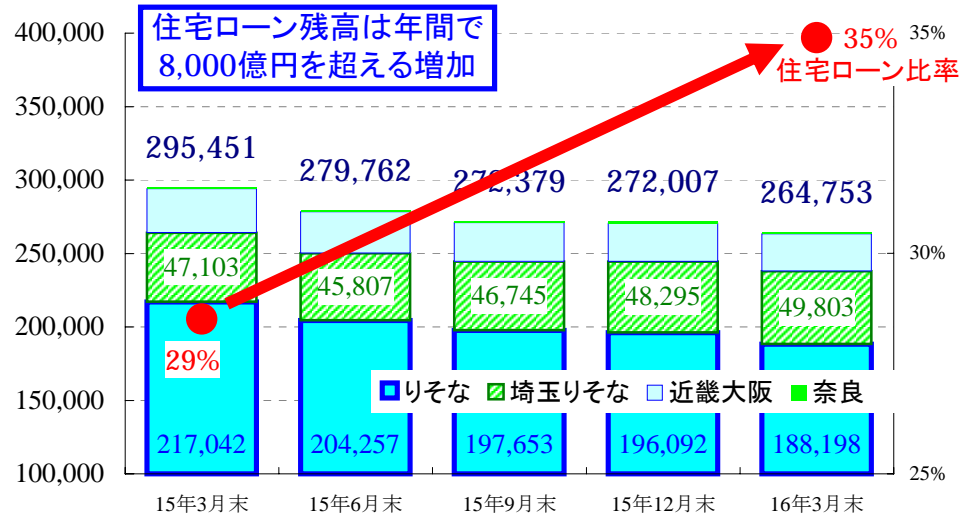
〔政策投資株式(上場・店頭)簿価〕～株価変動リスクを大幅に圧縮



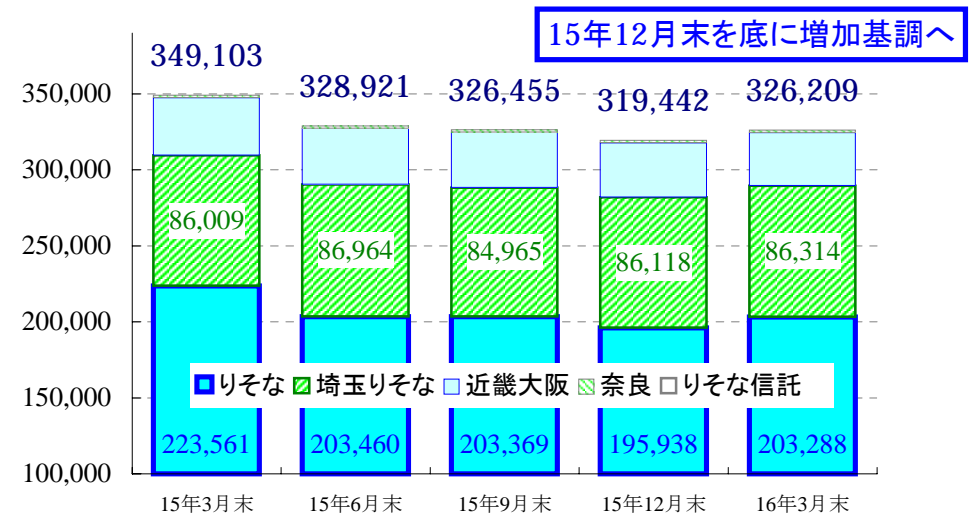
〔りそな銀行の再生勘定残高〕～全項目で期末計画値を達成



〔貸出金末残(信託勘定含む4行合算)〕～住宅ローン比率は大幅な向上



〔預金末残(5行合算)〕～16年3月末は増加基調へ



注:金額については単位未満を切捨て表示

〔各傘下銀行の単体計数を表示〕

Ⅱ. 平成16年3月期決算等の概要

(単位:億円)	HD連結
連結粗利益①	7,750
営業経費②	5,100
【参考】単純合計①+②	2,649
一般貸倒引当金繰入額	83
連結臨時収支	13,852
不良債権処理額	14,099
株式関係損益	576
その他臨時収支	328
連結経常損益	11,118
連結特別損益	1,820
うち事業再構築・減損損失	1,079
税金等調整前当期純損益	12,939
法人税等調整額他	3,700
連結当期純損益	16,639

(単位:億円)	5行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	奈良	りそな信託
業務粗利益	6,727	4,450	1,124	855	36	259
経費	4,168	2,772	725	537	37	95
実勢業務純益*1	2,603	1,723	398	318	0	164
一般貸倒引当金繰入額	194	275	38	41	0	-
臨時収支	14,278	11,733	256	2,266	19	3
不良債権処理額	13,434	11,127	246	2,047	13	-
株式関係損益	199	107	19	111	0	-
その他臨時収支	644	498	29	107	5	3
経常損益	11,525	9,779	103	1,990	19	160
特別損益	1,791	1,525	26	236	6	3
うち事業再構築・減損損失	1,051	856	9	184	1	-
税引前当期損益	13,316	11,304	76	2,226	26	164
法人税等調整額他	3,610	2,853	34	659	5	57
当期純損益	16,927	14,157	41	2,886	32	106

*1 : 実勢業務純益は信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

連結年間・中間期純損益差額*2	+1,056
-----------------	--------

年間・中間純損益差額*2*3	+917	+603	+91	+164	8	+65
----------------	------	------	-----	------	---	-----

*2 : 年間の当期純損益と15年9月中間純損益との比較値を示しております

*3 : Page1における〔15年度下期当期利益〕であります

(単位:億円)	HD単体
営業収益	325
うち子会社受取配当金	191
経常損益	164
子会社株式評価損	14,803
当期損益	14,639

	HD連結	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	奈良	りそな信託
【連結】自己資本比率(速報値)	7.75%	7.14%		7.82%		
Tier I 比率	3.92%	4.88%		5.09%		
【単体】自己資本比率(速報値)		7.57%	7.65%	7.74%	6.21%	110.63%
Tier I 比率		5.24%	3.89%	5.00%	4.89%	110.63%

注:金額については単位未満を切捨て表示

〔各傘下銀行の単体計数を表示〕

Ⅲ. 実勢業務純益等の概要

(単位:億円)	5行合算		2行合算 ^{*2}				近畿大阪		奈良	りそな信託
	(16年3月期)	15年3月期比	(16年3月期)	(16年3月期)	(16年3月期)	15年3月期比	(16年3月期)	15年3月期比	(16年3月期)	(16年3月期)
実勢業務純益 ^{*1}	2,603	470	1,723	398	2,121	492	318	+25	0	164

*1 : 実勢業務純益は信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

*2 : 16年3月期は「りそな+埼玉りそな」の2行合算計数

: 15年3月期は「りそな(旧大和:14年4月~15年3月+旧あさひのりそな分:15年3月)+埼玉りそな(15年3月)+旧あさひ(14年4月~15年2月)」の合算計数

業務粗利益	6,727	883	4,450	1,124	5,575	807	855	73	36	259
うち資金利益	5,441	374	3,750	972	4,722	250	686	122	32	
うち債券関係損益	66	503	182	3	186	545	119	+43	0	

貸出金平残 ^{*3}	272,614	13,672	197,222	46,960	244,182	11,263	27,136	2,433	1,295
預貸金利回差	1.95%	0.02%	1.86%	2.06%	1.90%	0.01%	2.35%	0.03%	2.36%
貸出金利回	2.05%	0.03%	1.96%	2.17%	2.00%	0.02%	2.49%	0.03%	2.45%

*3 : りそな銀行の貸出金平残は「銀行勘定」のみを記載(信託勘定を含めず)

【参考】

要注意先与信末残 ^{*4}	33,126	25,675	26,388	2,858	29,247	22,975	3,696	2,711	181
------------------------	--------	--------	--------	-------	--------	--------	-------	-------	-----

*4 : 債務者区分で要注意先(その他要注意先+要管理先)向けの各期末における与信(銀行・信託勘定合算の貸出金及び支払承諾等を含む)残高

経費(△)	4,168	390	2,772	725	3,497	293	537	99	37	95
人件費	1,237	326	775	202	977	260	207	59	15	36
物件費	2,673	88	1,819	477	2,297	57	296	40	19	59
税金	257	+24	177	45	222	+23	32	+0	1	0

従業員数 ^{*5}	16,089	3,218	9,936	2,906	12,842	2,264	2,576	890	242	429
--------------------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-----	-----	-----

*5 : 経営健全化計画ベース(出向者含む在籍人員、役員・執行役員は含まず)、りそな銀行の従業員数はりそな信託銀行への出向者を控除して記載

注:金額については単位未満を切捨て表示

〔各傘下銀行の単体計数を表示〕

IV. 与信関連費用等の概要

(単位:億円)	4行合算		りそな		埼玉りそな		近畿大阪		奈良	
	(16年3月期)	(下期)	(16年3月期)	(下期)	(16年3月期)	(下期)	(16年3月期)	(下期)	(16年3月期)	(下期)
与信関連費用総額(△)	13,284	+ 198	10,896	+ 248	285	+ 59	2,089	116	13	+ 6
不良債権処理額	13,434	+ 965	11,127	+ 854	246	+ 38	2,047	+ 66	13	+ 6
一般貸倒引当金繰入額	194	774	275	612	38	+ 21	41	183	0	+ 0
信託勘定不良債権処理	44	+ 7	44	+ 7	-	-	-	-	-	-
緊密・ノンバンク処理等	2,928	747	2,336	631	-	-	591	116	-	-
大口・再生支援強化等	1,399	28	1,286	22	-	-	113	6	-	-
DCF拡大等引当強化	4,095	+ 259	3,474	+ 212	115	+ 22	506	+ 25	-	-
担保評価の見直し等	664	+ 93	408	+ 62	65	+ 19	180	+ 5	11	+ 7
債務者劣化影響他	4,198	+ 621	3,392	+ 627	105	+ 18	699	24	2	1

子会社等※株式関連損失	871	+ 303	737	+ 275	134	+ 28
-------------	-----	-------	-----	-------	-----	------

※緊密・ノンバンク処理などに係る子会社等

V. 金融再生法基準開示債権

(単位:億円)	4行合算		りそな ^{*2}		埼玉りそな		近畿大阪		奈良	
	(16年3月末)	中間期末比	(16年3月末)	中間期末比	(16年3月末)	中間期末比	(16年3月末)	中間期末比	(16年3月末)	中間期末比
破産更生債権等	2,037	4,397	1,285	3,558	189	63	541	724	21	51
危険債権	7,989	4,176	6,176	3,836	607	3	1,165	340	39	+ 4
要管理債権	8,815	4,774	7,425	4,312	733	60	625	399	31	2
開示債権計(不良債権)	18,841	13,348	14,886	11,707	1,530	127	2,332	1,464	92	49
不良債権比率 ^{*1}	6.7%	4.4%	7.4%	5.2%	3.0%	0.5%	8.9%	4.9%	6.7%	4.0%

*1 : 開示債権計(不良債権) ÷ 金融再生法基準開示債権総合計(総与信)

*2 : りそな銀行の開示債権は銀行勘定及び信託勘定の合計

17年3月末不良債権比率計画	3%台	3%台	2%台	7%台	5%台
----------------	-----	-----	-----	-----	-----

注:金額については単位未満を切捨て表示

〔各傘下銀行の単体計数を表示〕

VI. 債務者区別の保全率等の概要

(単位:億円)	4行合算		りそな ^{*1}		埼玉りそな		近畿大阪		奈良	
	(16年3月末)	15年3月末比	(16年3月末)	15年3月末比	(16年3月末)	15年3月末比	(16年3月末)	15年3月末比	(16年3月末)	15年3月末比
破綻先・実質破綻先	100.0%	-	100.0%	-	100.0%	-	100.0%	-	100.0%	-
債権残高 ^{*2}	2,037	1,850	1,285	1,394	189	105	541	306	21	45
担保・保証等	90.2%	+2.4%	93.1%	+7.0%	92.3%	6.2%	82.8%	11.0%	85.2%	+48.0%
引当率 ^{*3}	9.8%	2.4%	6.9%	7.0%	7.7%	+6.2%	17.2%	+10.9%	14.8%	48.0%
非保全部分引当率	100.0%	-	100.0%	-	100.0%	-	100.0%	-	100.0%	-
破綻懸念先	93.0%	+9.8%	91.8%	+9.1%	93.6%	+10.5%	99.0%	+14.1%	91.9%	2.8%
債権残高	7,989	+459	6,176	+602	607	5	1,165	138	39	-
担保・保証等	35.0%	20.0%	29.0%	24.7%	63.2%	+2.6%	51.5%	6.3%	56.7%	10.8%
引当率 ^{*3}	58.0%	+29.8%	62.8%	+33.8%	30.4%	+7.9%	47.5%	+20.4%	35.2%	+8.0%
非保全部分引当率	89.2%	+26.7%	88.5%	+25.9%	82.5%	+25.5%	98.0%	+33.7%	81.4%	2.4%
要管理先	70.5%	+13.9%	67.1%	+14.7%	78.6%	+9.2%	96.4%	+18.0%	86.3%	6.5%
債権残高	10,744	12,675	8,910	10,434	964	68	828	2,170	41	2
担保・保証等	39.4%	0.5%	36.0%	+0.9%	59.5%	+4.0%	51.9%	13.3%	59.7%	7.4%
引当率 ^{*3}	31.1%	+14.4%	31.1%	+13.8%	19.1%	+5.2%	44.5%	+31.3%	26.6%	+0.9%
非保全部分引当率	51.3%	+23.5%	48.7%	+21.9%	47.1%	+16.0%	92.5%	+54.5%	65.9%	12.1%
その他要注意先	52.1%	+10.7%	47.1%	+10.8%	60.4%	3.6%	76.7%	+7.5%	60.5%	+8.0%
債権残高	22,381	12,999	17,477	11,916	1,894	555	2,868	541	140	+13
担保・保証等	48.2%	+8.3%	42.8%	+8.2%	57.7%	4.3%	73.9%	+5.4%	59.2%	+8.6%
引当率 ^{*3}	3.9%	+2.3%	4.2%	+2.6%	2.7%	+0.7%	2.9%	+2.0%	1.3%	0.6%
正常先に対する引当率 ^{*3}	0.13%	+0.04%	0.15%	+0.04%	0.02%	0.01%	0.17%	+0.08%	0.26%	+0.02%
債権残高	236,231	5,058	167,476	7,137	46,928	+3,600	20,681	1,587	1,145	+65
【参考】債権残高の合計	279,384	32,124	201,326	30,280	50,583	+2,865	26,085	4,742	1,388	+32

*1 :りそな銀行の引当率等は銀行勘定及び信託勘定の合計

*2 :部分直接償却実施後の債権残高(但し、16年3月末から奈良銀行は部分直接償却を実施)

*3 :引当率=当該引当金÷当該債権残高〔※非保全部分引当率=当該引当金÷(当該債権残高-担保・保証等の保全額)〕

注:金額については単位未満を切捨て表示

〔各傘下銀行の単体計数を表示〕

VII. 特別損失の概要

(単位:億円)	4行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪	奈良	備考
特別損失 (△)	2,155	1,807	39	300	7	
うち事業再構築関連	773	701	5	65	-	
事業再構築損失	640	574	5	60	0	集中再生期間での資産・収益構造改革に伴う損失 及び 平成16年度以降の損失発生見込額の引当金繰入
事業再構築引当金	132	127	-	4	0	
システム関連	421	421	-	-	-	
不動産関連	93	88	-	4	0	
早期退職支援関連	154	87	5	60	0	
信託勘定関連	103	103	-	-	-	
うち減損損失	278	154	3	119	0	
稼動資産	6	6	-	-	-	「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用した事に伴う損失
遊休資産等	272	148	3	119	0	
うち退職給付関連	922	809	21	87	4	中間期に実施した退職給付不足金前倒し処理等に係る損失
代行返上関連	272	261	8	-	2	※近畿大阪銀行は、代行返上に伴い31億円の特別利益を計上
変更時差異一括償却	649	548	12	87	1	
うち動産不動産処分損	169	130	9	29	1	事業再構築損失等を除く処分損失

【参考】16年度期首における退職給付不足金等の状況

	3行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
16年度期首要償却残高	1,566	1,420	94	51
15年度期首比	2,998	2,567	116	313
16年度期首退職給付債務	5,528	4,834	332	362
15年度期首比	2,472	1,959	56	455

※ 左記の債務残高等については、割引率を15年度期首の2.5%から2.0%に引下げた影響を反映しております。

※ 平成16年度の3行合算・不足金償却負担は大幅に軽減され、年間約200億円と見込んでおります。(14年度実績:約440億円)

※ 平成16年度上期に予定する企業年金の受給権者(OB)の給付減額等に伴い、約390億円の債務圧縮を見込んでおります。

注:金額については単位未満を切捨て表示

〔各傘下銀行の単体計数を表示〕

Ⅶ. 繰延税金資産の概要

(単位:億円)	4行合算		りそな		埼玉りそな		近畿大阪		奈良	
	(16年3月末)	15年3月末比	(16年3月末)	15年3月末比	(16年3月末)	15年3月末比	(16年3月末)	15年3月末比	(16年3月末)	15年3月末比
繰延税金資産の純額〔(1)+(2)〕	508	4,600	134	3,781	308	128	63	684	0	4
単体・Tier I との対比率 ^{*1}	4.4%	99.0%	1.5%	151.6%	19.9%	9.1%	6.8%	83.5%	2.0%	11.2%
例示区分※(課税所得見積期間)			4号但書き(1年)		4号但書き(5年)		4号(1年)		4号(1年)	

※ 例示区分:「繰延税金資産の回収可能性の判断に関する監査上の取扱い」(平成11年11月9日 日本公認会計士協会〈監査委員会報告第66号〉)

*1:「繰延税金資産の純額」÷「単体・自己資本比率の計算に係るTier I 額」

① 繰延税金資産合計	1,789	4,049	1,214	3,330	482	54	91	658	1	5
うち評価性引当額	17,902	9,030	15,739	7,464	100	+7	2,028	1,558	34	16
② 繰延税金負債(一般分) ^{*2}	318	+396	254	+374	64	+21	-	-	-	-
(1) 繰延税金資産〔①+②〕 ^{*3}	1,470	3,653	960	2,955	417	33	91	658	1	5
(2) 繰延税金負債(評価差額) ^{*4}	962	946	825	825	109	95	27	26	0	+1

*2:②は将来加算一時差異(退職給付信託設定益等)に係る繰延税金負債(株式等評価差額に係る部分を除くベース)

*3:(1)は「①将来減算一時差異(貸倒引当金等)及び繰越欠損金等に係る繰延税金資産合計」と「②の繰延税金負債(一般分)」を単純にネットした繰延税金資産

*4:(2)は政策投資株式等の「その他有価証券の評価差額(ネット評価益)」に係る繰延税金負債

Ⅸ. りそな銀行の勘定分離の概要

※2. 上場・店頭株式は簿価ベースで記載

※3. 不動産は遊休・廃止予定のみの残高

※4. 保証金等は廃止予定物件差入分のみ

	【再生勘定】 全体※1	うち 貸出資産	うち 開示債権	※2うち 上場株式等	※3うち 不動産	※4うち 保証金等	うち 会員権
15年9月末残高(分離基準日)	35,661	28,263	25,854	4,748	340	270	20
15年12月末残高	27,979	22,275	20,419	2,970	322	224	19
16年3月末残高	18,463	14,367	13,167	2,183	59	74	14
15年9月末比	17,198	13,896	12,687	2,565	281	196	6

※1. 分離基準日以降、正常先・要注意先に上位遷移した貸出債権(2,398億円)、有価証券(415億円)は残高に含めず

17年3月末の残高目標	ゼロ	ゼロ	ゼロ	ゼロ
-------------	----	----	----	----

1 5 年 度 下 期 実 績	修正コア業務純益	706
	実勢業務純益	713
	実勢業務純益ROA	0.51%

新勘定のパフォーマンス評価指標を健全化計画に掲載している指標から上記指標へ変更しております。

注:金額については単位未満を切捨て表示

X. 平成17年3月期業績予想の概要

(単位:億円)	HD連結	
	(中間予想)	(年間予想)
経常収益	5,100	10,300
経常利益	1,000	2,000
当期(中間)純利益	850	1,700

HD連結・17年3月末自己資本比率見込	8%台半ば
---------------------	-------

(単位:億円)	HD単体	
	(中間予想)	(年間予想)
営業収益	260	710
経常利益	160	520
当期(中間)純利益	40	400

17年3月期末普通配当予想	—
17年3月期末優先配当予想	所定の配当

※優先出資証券につきましても所定の配当を予想しております

※尚、配当予想は、資本の減少に係る株主総会の決議等を前提としております

【参考】傘下銀行の〔単体〕業績予想

(単位:億円)	5行合算		りそな	埼玉りそな	近畿大阪	奈良	りそな信託
	(中間予想)	(年間予想)	(年間予想)	(年間予想)	(年間予想)	(年間予想)	(年間予想)
業務粗利益	3,390	6,800	4,620	1,170	745	40	225
経費	1,800	3,580	2,300	740	410	30	100
実勢業務純益	1,590	3,220	2,320	430	335	10	125
臨時収支	620	1,305	1,040	125	140	0	0
与信関連費用総額(▲)	580	1,105	860	125	120	0	-
経常利益	970	1,915	1,280	305	195	10	125
特別損益	25	60	40	5	15	0	0
法人税等調整額他	95	175	0	125	0	0	50
当期(中間)純利益	850	1,680	1,240	175	180	10	75

17年3月末自己資本比率見込

【連結】	〔単体〕	【連結】	〔単体〕	〔単体〕
7%台後半	7%台半ば	8%台前半	6%台半ば	120%程度

注:金額については単位未満を切捨て表示